

ポイント 1 必ず声掛け

入校証を着用していない等、

少しでも不審を感じたら、必ず声を掛けます！

- ★「こんにちは、何かご用ですか？」
- ★ 不審な場合は、その場で引き留めの対応を行う。

日常の対応

- ◎入校証着用の徹底
- ◎来校者への声かけの徹底
- ◎事務室での確認の徹底
- ◎門開閉の管理の徹底
- ◎昇降口開閉管理の徹底
- ◎不審者訓練の実施
- ◎さすまた等の確認

指示に従わない場合は、不審者です

ポイント 2 児童の安全確保

発見者の動き

- ・不審者に対応する前に、必ず児童の状況を把握し、児童の安全確保を最優先する。
児童を教室内で隔離する。不審者を児童から遠ざける。不審者の間に教員が入る。
- ・発見教員は、刺激をしないように対応する。やむを得ない場合は笛を吹く。
- ・不審者の一報を聞いた（察知した）教員は、速やかに職員室に連絡。（内線も可）

すぐに

「学校110番」への通報

- ★ 職員室、副校長席後ろの「学校110番」を押して、警察へ連絡する。
- 管理職が不在でも、**迷わず押す！**
- ★ 事務職員は、警察の到着時、当該教室を伝える。
- ※ 教育委員会への連絡

「ひまらや杉集会」の放送

- ★ 連絡します。これから「〇年〇組（不審者発見場所）でヒマラヤ杉集会」を行います。
- 次の放送まで、児童の皆さんは教室で静かに待ちましょう。
- ★ 教員はiPadで連絡体制を取る。

ポイント 4 児童の前では冷静に行動

各教室等では児童の安全確保

- ★ 児童は協力してバリケードを作り、教室の死角になる場所で**静かに身を隠す**。
- ★ 近隣教室の場合、当該学級の児童の受け入れ。児童だけを残さない。

動ける教員は応援に急行

- ★ 学年の廊下で児童管理をする。
- ★ 不審者の対応をする。（さすまた持参）
- ★ **身柄確保ではなく、安全が最優先！**
児童の身を守る。自分の身を守る。

安全確認

各所の教員は、随時、iPadのzoomに接続し、状況把握、双方で情報共有する。

ポイント 5 確実な情報伝達

**情報共有
情報伝達**

迅速
正確
zoom

双方向

- 1 各所の教員は、iPadのzoomに接続し、状況把握。
- 2 各所と本部（管理職）が双方向で、随時、状況報告。
- 3 児童管理以外の教員は、職員室で直接、情報伝達。
- 4 安全が確保できたことを全校に放送。
- 5 管理職から、概要説明や次の行動の指示。
担任への伝達 → 児童への注意事項連絡
- 6 保護者へメールでの配信。市教委への報告。